

平成28年5月20日公表

# 「『保活』・『保育制度全般』についてのご意見」の募集結果

この調査は、平成28年3月22日から5月13日まで、厚生労働省ホームページにおいて、「保活」についてのご意見、保育制度全般の改善についてのご意見を広く募集したものです。

今回の集計は、4月30日までの回答分

平成28年4月11日から開始した「『保活』の実態に関する調査」(保活実態調査)と重複する項目の調査結果は省略しています。保活実態調査の結果についても併せてご覧ください。

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課

# 目次

## 【 「保活」についてのご意見の結果】

- ・ 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- ・ 行った「保活」の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- ・ 情報収集の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- ・ 「保活」における行動内容の具体例・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6 ～ 8

## 【 保育制度全般の改善についてのご意見の結果】

- ・ 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 0
- ・ 保育制度の現状へのご意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 1 ～ 1 2
- ・ 保育制度全般の改善についてのご意見・・・・・・・・・・・・・・ P 1 3 ～ 1 4

# 「保活」についてのご意見の結果

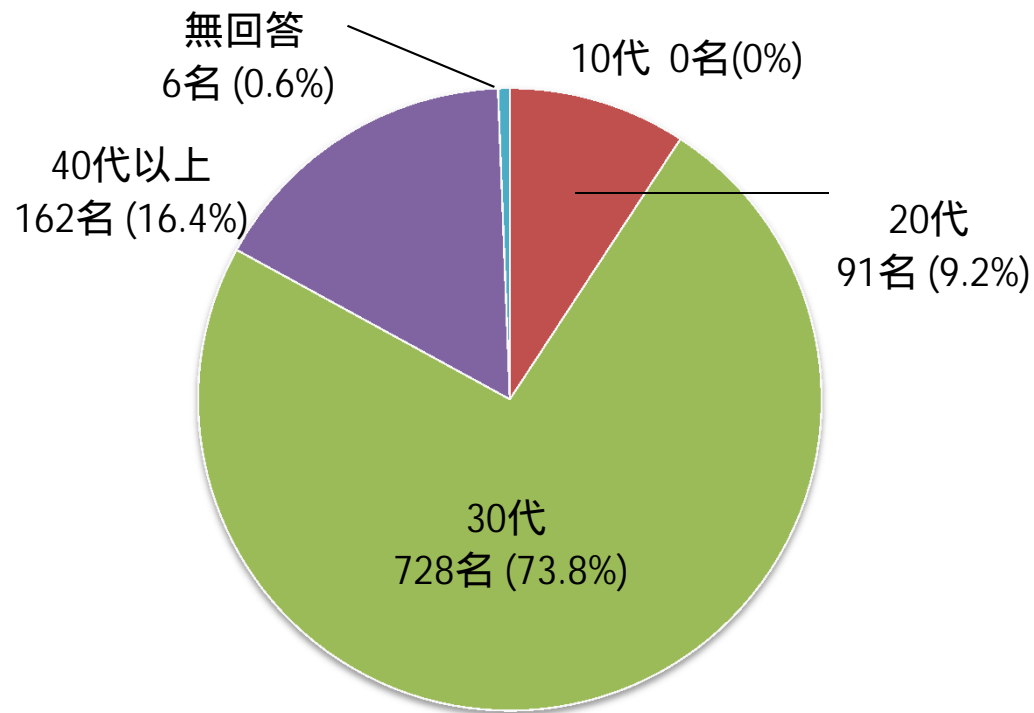
# 調査の概要（「保活」についてのご意見）

調査対象：「保活」を行った保護者の方

調査方法：厚生労働省ホームページから、回答様式にアクセスの上、回答。

有効回答数(n)：987件(平成28年3月22日(金)(調査開始日)～4月30日(土)の回答数)

【回答者の年齢構成】(n = 987人)



【都道府県別回答数(上位5都府県)】

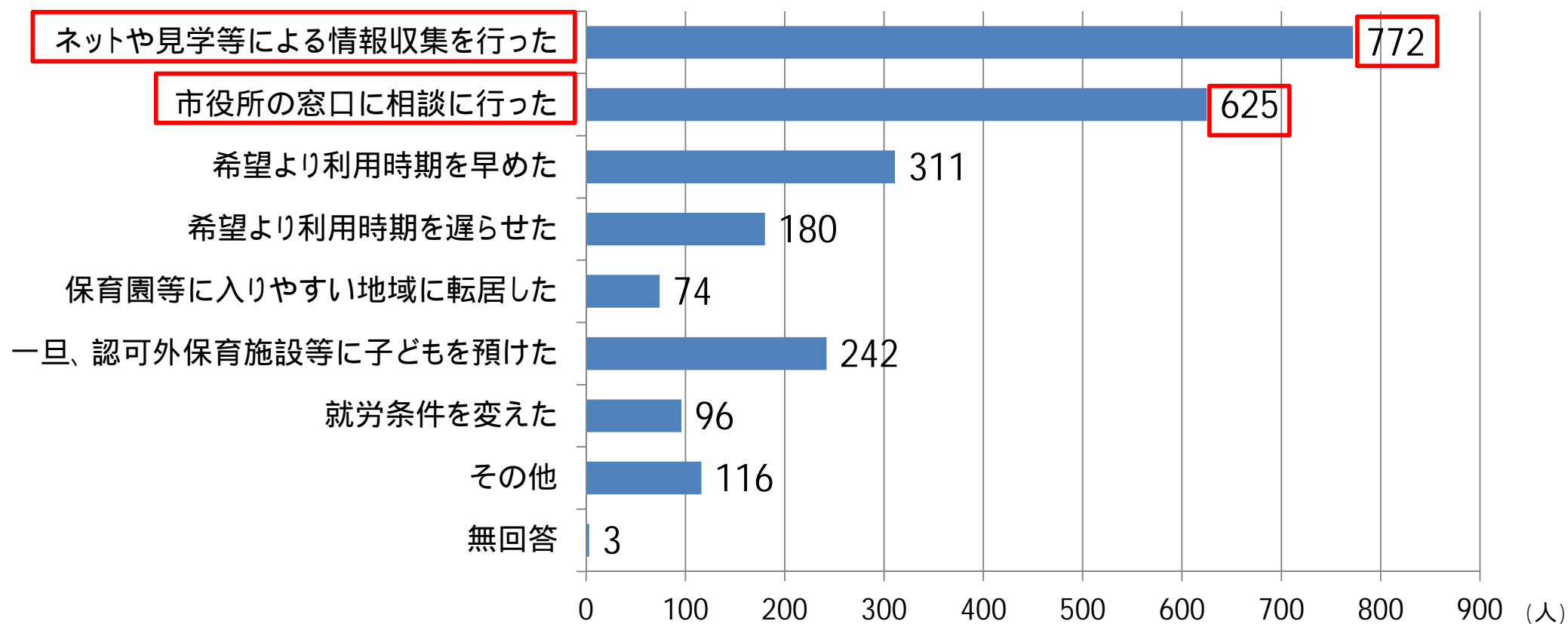
東京都	448件 (45.4%)
神奈川県	132件 (13.4%)
大阪府	82件 ( 8.3%)
埼玉県	59件 ( 6.0%)
千葉県	40件 ( 4.1%)

【性別構成】 男性：58名， 女性：926名， 無回答3名

## (1) 行った「保活」の内容

「保活」の内容については、「保育園等を比較検討するため、ネットで検索や実際に見学に行く等、情報収集を行った(772人)」「市役所の窓口相談に行った(625人)」との回答が多い。(情報収集の内容・手段や、希望より利用時期を早めた(遅らせた)理由などの具体的な内容は、P 6～8を参照)

【設問】 行なった「保活」の内容について教えてください。(複数回答 / n = 824)

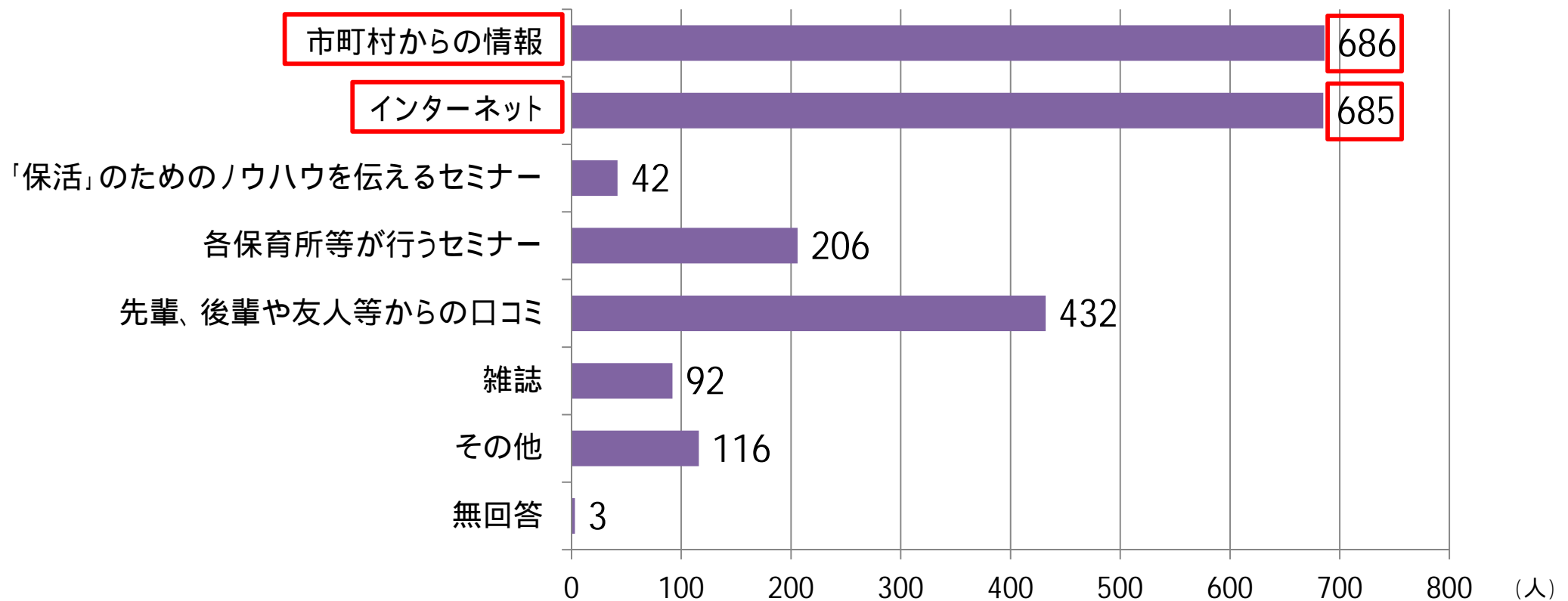


## (2) 情報収集の方法

「保活」の内容のうち、「保育園等を比較検討するため、ネットで検索や実際に見学に行く等、情報収集を行った」と答えた人が用いた情報収集の方法は、市区町村からの情報(686人)やインターネット(685人)が多い。

また、先輩、後輩や友人等からの口コミ(432人)、各保育所が行うセミナー(206人)との回答も多い。

【設問】 どのような方法で情報収集しましたか。(複数回答 / n = 772)



## (3) - 1 「保活」における行動内容の具体例（情報収集・窓口相談）

「保活」の内容のうち、「ネットや見学等による情報収集を行った」、「市役所の窓口で相談に行った」と答えた人が、具体的に実施した内容

### 【自由回答】 情報収集の内容

- ・ 空き情報や昨年度の倍率、評判など様々な情報を収集した。
- ・ 選考方法、選考基準、スケジュール等を電話で問い合わせた。
- ・ 家庭保育園、ファミリーサポート、ベビーシッターなどについて情報収集、申し込みを行い、保育園が不承諾になったときにも仕事復帰できるよう、押さえを用意しておいた。

### 【自由回答】 情報収集の方法

#### ① 市区町村から情報収集したもの

- ・ 区役所に電話して保育園の事情について聞いた。
- ・ 区役所の保育コンシェルジュに相談した。

#### ② インターネットを活用して情報収集したもの

- ・ 保育園のホームページや口コミを可能な限り読み込んだ。
- ・ SNS(Facebook, Twitter等)で情報収集した。

#### ③ 保育園等に実際に足を運んで情報収集したもの

- ・ 保育園に直接お願いし、説明を受けて見学させてもらった。
- ・ Google Mapで自宅周辺のすべての「保育園」と名の付く施設をピックアップし、歩いて見に行った。
- ・ 保育園のイベントや運動会など未就園児歓迎の行事に積極的に顔を出した。
- ・ 地域子育て支援センターや児童館で行うワーキングマザー対象の集まりに参加した。
- ・ 社会問題を扱うスタディーツアープログラムの保育園視察ツアーに参加した。

#### ④ その他

- ・ NPO法人が出版する書籍で、入園申し込みや、実際の園での生活などの情報を読み込んだ。
- ・ 地域の先輩ママから情報収集した。

## ( 3 ) - 2 「保活」における行動内容の具体例（利用時期・就労条件の変更）

「保活」の内容のうち、「希望より利用時期を早めた(遅らせた)」、「就労条件を変えた」と答えた人が、具体的に実施した内容等

### 【自由回答】 「希望より利用時期を早めた」と答えた人が、具体的に実施した内容・理由

- ・ 待機時間が長いと優先順位が高まることから、次年度4月に認可保育園に入りやすくするため、育児休業を早めに切り上げて認可外保育施設等を利用した。
- ・ 1歳からの入園は倍率が高い、年度途中では入園しづらいため、育児休暇を早めに切り上げて0歳からの入園とした。

### 【自由回答】 「希望より利用時期を遅らせた」と答えた人が具体的に実施した内容・理由

- ・ 育児休業終了の3月中の入園は難しく、4月入園を目指して育児休業の終了時期を延長した。
- ・ 1月から認可保育園を利用したかったが、入れなかったため、4月からの入園申し込みをし、1～3月は一時保育などを利用した。

### 【自由回答】 「就労条件を変えた」と答えた人が具体的に実施した内容

- ・ 会社に事情を説明し、フルタイムの状態ながらも勤務時間を抑えられるようにした。
- ・ 職場の了解を得て、保育園の送り迎えの時間は融通を利かせてもらった。
- ・ 時短勤務に変更した。
- ・ 在宅勤務に変更した。
- ・ 派遣社員に雇用形態を変更した。



## ( 3 ) - 3 「保活」における行動内容の具体例（その他）

行った「保活」の内容について、「その他」と回答した人の活動の内容

### 【自由回答】 「その他」の活動内容

- ・ 結婚後かつ妊娠前に、比較的待機児童が少ないとされている自治体で住居を探した。
- ・ 生後半年からしか受け入れていない保育園もあったため、4～8月生まれになるようにバースコントロールした。
- ・ 勤務先と、保育園に入れた場合と入れなかった場合の復職について話し合った。
- ・ 認可保育園に必ず入れる保証がなかったので、妊娠中に認証保育所を仮押さえした。
- ・ 入園許可が出る確率が高くなるよう、現住所から遠い園にも希望を出した。
- ・ 市の基準では、待機時間が長いと加点が加えられたため、本当に利用開始したい時期よりも半年早く利用申請をした。

# 保育制度全般の改善についての ご意見の結果

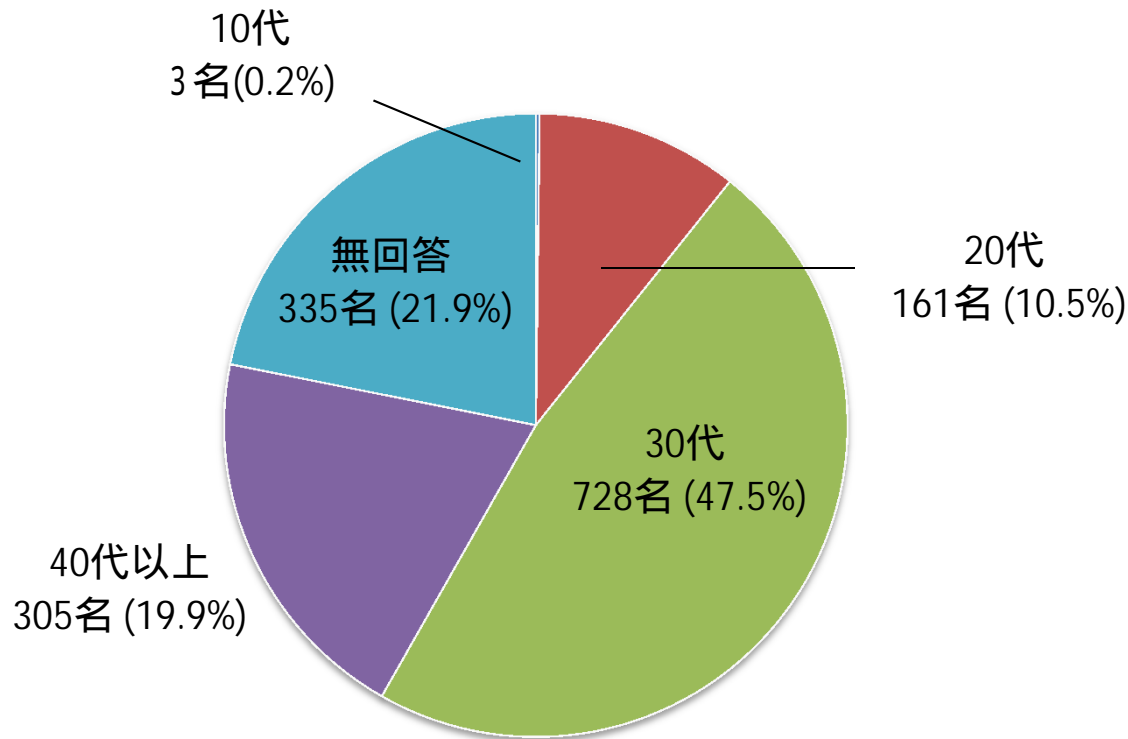
# 調査の概要（保育制度全般の改善についてのご意見）

調査対象：厚生労働省ホームページにアクセスしたすべての方

調査方法：厚生労働省ホームページから、回答様式にアクセスの上、回答。

有効回答数(n)：1532件(平成28年3月22日(金)(調査開始日)～4月30日(土)の回答数)

【回答者の年齢構成】(n = 1532人)



【都道府県別回答数(上位5都府県)】

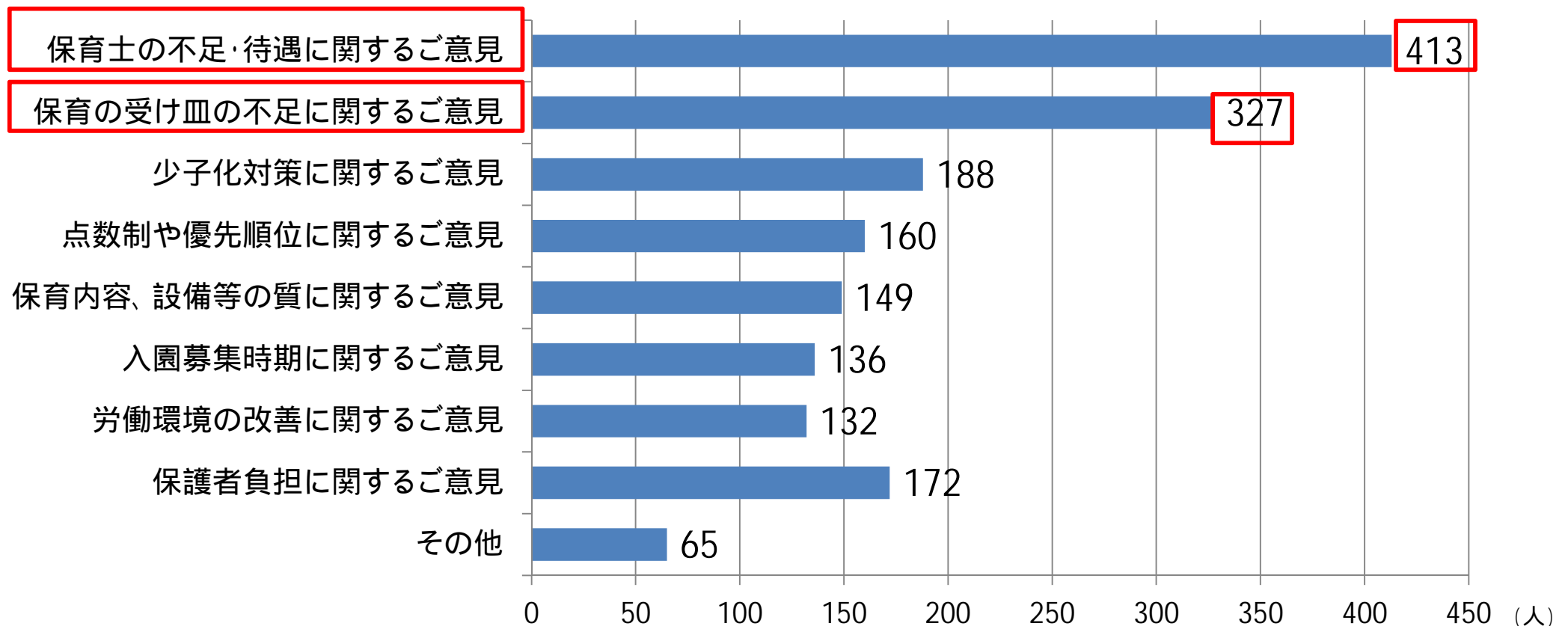
東京都	422件 (27.5%)
神奈川県	154件 (10.1%)
大阪府	111件 ( 7.2%)
埼玉県	82件 ( 5.4%)
愛知県	80件 ( 5.2%)

【性別構成】 男性:224名, 女性:1134名, 無回答174名

# 保育制度の現状へのご意見

保育制度への現状については、保育士の不足・待遇に関するご意見(413人)、  
保育の受け皿の拡充に関するご意見(327人)が特に多い。

【設問】 保育制度の現状についてご意見をお聞かせください。(自由回答 / n = 1532)



# 保育制度の現状へのご意見の具体例

保育制度の現状へのご意見のうち、特に多い「保育士の不足・待遇に関するご意見」、「保育の受け皿の拡充に関するご意見」の具体的な内容等

## 【自由回答】 「保育士の不足・待遇に関するご意見」の具体的な内容

- ・保育士の数が足りていないため、個々の保育士の負担が大きく、十分な保育が提供できていない。
- ・子育て支援、書類作成等の雑務、保護者対応等、保育以外の業務が多く、勤務時間も長くなる一方で、保育士はいつも疲労困憊している。
- ・給料は低い、勤務は過酷、自分の子どもは育てられないという環境で、職員の離職が止まらない状況。
- ・保育士を目指す人は子どもが好きであったり、人の役に立ちたいという思いが強い方が多いが、実際に働いてみると重労働の割に処遇が低く、一生の仕事として選ばれにくい。

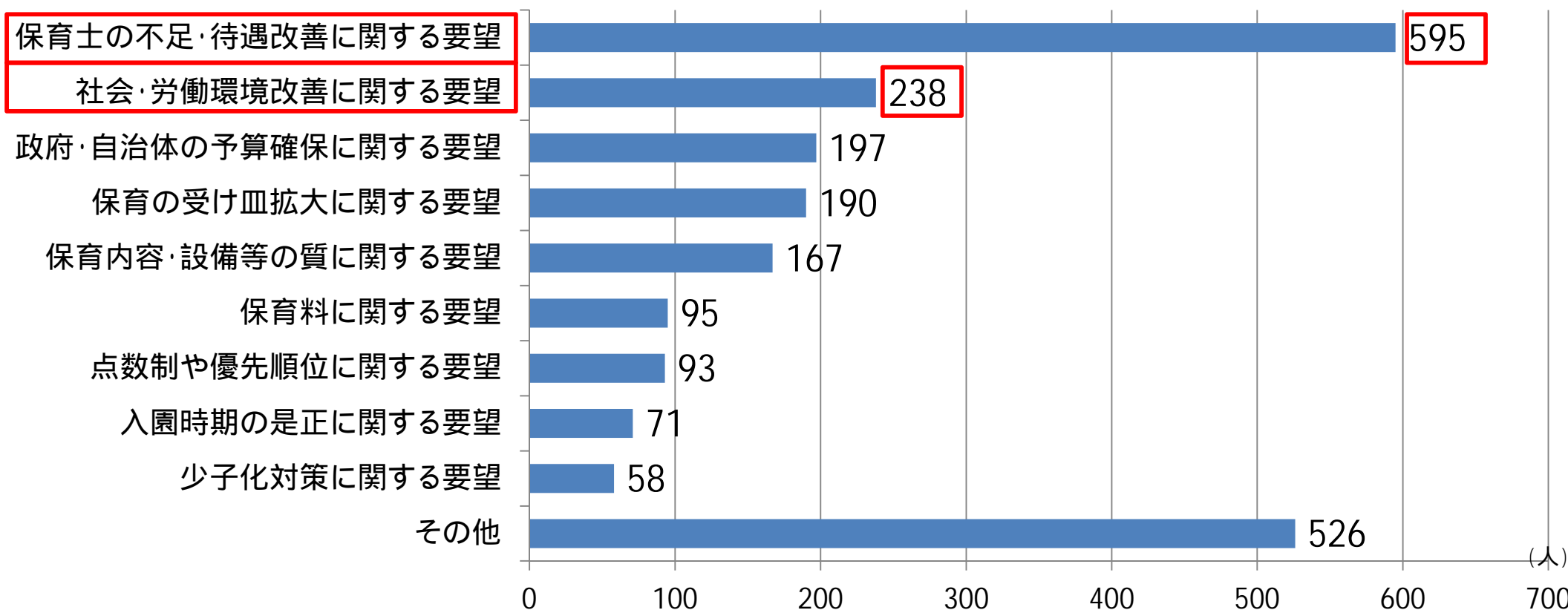
## 【自由回答】 「保育の受け皿の拡充に関するご意見」の具体的な内容

- ・保育園の定員が足りていないため、多くの自治体が保護者の状況を点数化し、順位付けをして入園者の選定をしている状況にある。
- ・保育施設の数が都市部で圧倒的に足りていない。
- ・認可保育園が圧倒的に数が足りず、認可外保育施設についても量・質ともに不十分。
- ・1歳児の入園枠が少ないため、0歳児入園の競争が激化している。
- ・待機児童の多い0～2歳児の受け皿確保に重点を置きがちだが、それにより3歳児の枠が不足している。

# 保育制度全般の改善についてのご意見

保育制度全般についての国への要望、改善すべきと思っていることについては、  
保育士の不足・待遇に関する要望(595人)が特に多かった。次いで、保活等の社会・労働  
環境改善に関する要望(238人)が多い。

【設問】 保育制度全般についての国への要望や、改善すべきと思っていることをお聞かせください。  
(自由回答 / n = 1532)



# 保育制度全般の改善についてのご意見の具体例

保育制度全般の改善についてのご意見のうち、特に多い「保育士の不足・待遇に関する要望」、「社会・労働環境改善に関する要望」の具体的な内容等

## 【自由回答】「保育士の不足・待遇に関する要望」の具体的な内容

- ・足りていない保育士数を算出し、補充してほしい。子育て経験のある母親などであれば、保育士資格がなくとも働ける環境づくりをしてほしい。
- ・潜在保育士の解消、離職防止のため、保育士の給与改善を行ってほしい。
- ・保育士の負担軽減のため、保育士の業務量の削減や労働環境の改善をしてほしい。
- ・保育士のスキルアップの道筋や評価の基準が明らかになるようにすれば、向上心のあるよい保育士が  
正当な評価をされ、保育士も専門職として社会的に認められるようになると思う。
- ・保育士の処遇の改善として、給与を上げる、社会的ステータスを上げるということはもちろん必要だと思うが、保育士であればその方の子どもを第一優先保育園に入れるというのも必要だと思う。

## 【自由回答】「社会・労働環境改善に関する要望」の具体的な内容

- ・子育てと仕事を両立できる社会にするため、保育所の整備、保育士の処遇改善などにより、必要として  
いる人がすべて保育園に入れるようにしてほしい。
- ・子育て中に自宅で仕事をしている人への支援を強化してほしい。
- ・育児休業・育児休業給付金の対象期間延長、短時間正社員制度の拡充、父親の育児休業制度の確立な  
ど、子育てと仕事の両立支援を強化してほしい。
- ・保育所の整備や保育士の処遇改善といった施策では限界がある。子育ての社会的な責任について、保護  
者、保育園、行政だけでなく、親の就労先である企業にも相当の責任を負わせるべき。保育園に入れず復  
職できない場合に退社せざるを得ないようなこともあり、こうしたことのないよう企業に働きかけてほしい。